

関東信越厚生局長 殿

開設者名
筑波大学長 山田信

筑波大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	163.3 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	304人	293人	539.2人	看護補助者	59人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	11人	15.1人	理学療法士	10人	臨床検査技師	63人
薬剤師	39人	1人	39.9人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	32人	2人	32.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	621人	28人	636.9人	臨床工学技士	13人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	1人	0人	1人	歯科技工士	2人	事務職員	148人
管理栄養士	7人	1人	7.9人	診療放射線技師	38人	その他の職員	32人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	650.5人	15.8人	666.3人
1日当たり平均外来患者数	1,422.8人	58.0人	1,480.8人
1日当たり平均調剤数			1,575.4剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	2人
顎顔面補綴	8人
陽子線治療	234人
エキシマレーザー冠動脈形成術	0人
超音波骨折治療	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	19人
活性化自己リンパ球移入療法	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	9人
先天性難聴の遺伝子診断	1人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ペーチェット病	69人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	87人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	114人	・原発性胆汁性肝硬変	27人
・全身性エリテマトーデス	450人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	81人
・再生不良性貧血	50人	・混合性結合組織病	51人
・サルコイドーシス	70人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	31人	・特発性間質性肺炎	11人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	253人	・網膜色素変性症	27人
・特発性血小板減少性紫斑病	59人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	56人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	164人	・神経線維腫症	11人
・大動脈炎症候群	39人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	22人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	36人	・慢性血栓性肺高血圧症	8人
・脊髄小脳変性症	55人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	45人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	150人	・球脊髄性筋萎縮症	5人
・アミロイドーシス	10人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	16人
・後縦靭帯骨化症	32人	・肥大型心筋症	4人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	30人	・ミトコンドリア病	15人
・ウェゲナー肉芽腫症	15人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	53人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	21人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	69人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
心電図健診による長期にわたる疫学調査: Brugada(ブルガダ)症候群長期予後調査	青沼和隆	循環器(内)診療グループ	169万円	補 厚生労働科学研究費補助金 委
新規肥満モデルが血圧上昇をきたすメカニズムの解明と高血圧の予防・治療への応用	酒井 俊	循環器(内)診療グループ	169万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
心肥大からの心不全発症におけるRNAポリメラーゼの脱リン酸化調節による役割解明	本間 寛	循環器(内)診療グループ	221万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
心臓再同期療法適応診断におけるスペックトルラッキング方の有用性評価に関する試験	瀬尾由広	循環器(内)診療グループ	260万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
世界初の高血圧性誘発モデルによる大動脈解離の分子病態解明と臨床病態マーカーの開発	佐藤 明	循環器(内)診療グループ	247万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
血漿マイクロパーティクルを用いた膠原病肺高血圧の発症にかかわる分子発現異常の評価	丸山秀和	循環器(内)診療グループ	390万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
先天性心疾患に合併する肺高血圧症に対する血管内皮増殖因子と低酸素誘導因子の影響	徳永千穂	循環器(外)診療グループ	65万円 総額250万	補 文部科学省 委
可溶性組織因子および単球の薬理制御によるサル体外循環中の外因系凝固遮断法の確立	平松祐司	循環器(外)診療グループ	208万円 総額793万円	補 文部科学省 委
血管撮影で使用する造影剤をどこまで減らせるか	松下昌之助	循環器(外)診療グループ	143万円 総額455万円	補 文部科学省 委
血小板製剤を用いた新規肝再生促進/線維化・障害抑制療法開発のための橋渡し研究	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	300万円	補 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B) 委
早期経口摂取が消化管吻合部創傷治癒を促進する機序の解明と臨床応用	寺島秀夫	消化器(外)診療グループ	50万円	補 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委
磁性ナノ粒子の癌細胞特異的相乗的集積法の開発	小田竜也	消化器(外)診療グループ	100万円	補 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C) 委

小計 12件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
血小板・クッパー細胞相互作用に着目した肝虚血再灌流障害抑制法の開発	近藤 匡	消化器(外)診療グループ	100万円	補 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C)
トロンボポエチン/血小板による新しい肝細胞癌予防治療法の開発	村田聡一郎	消化器(外)診療グループ	170万円	補 文部科学省 科学研究費補助金 若手研究(B)
多発肝のう胞症に対する治療ガイドライン作成と試料バンクの構築	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	1,050万円	補 厚生労働省 委
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	20万円	補 厚生労働省 委
磁性粒子+iRGDペプチドによる難治性固形癌の電磁誘導焼灼治療	小田竜也	消化器(外)診療グループ	200万円	補 桐仁会設立10周年記念臨床医学研究助成金
血小板の肝再生促進及び抗線維化機能を応用した難治性肝疾患治療法の開発	村田聡一郎	消化器(外)診療グループ	300万円	補 武田科学振興財団 委
肝不全に対する治療法の開発(血小板の持つ肝再生促進機能の解明と臨床応用)	大河内信弘	消化器(外)診療グループ	100万円	補 TARAプロジェクト 委
ナノ粒子+腫瘍浸透ペプチドによる難治性固形癌の電磁誘導焼灼治療	小田竜也	消化器(外)診療グループ	100万円	補 CREIL 委
遺伝的多様性に基づく慢性気道疾患の制御	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ	442万円	補 文科省科学研究費 委
炎症性閉塞性肺疾患発症に係る危険因子の解明・前向き呼保一による包括的研究	坂本 透	呼吸器(内)診療グループ	273万円	補 文科省科学研究費 委
敗血症性ARDSにおけるKeap1誘導性防御機構の解明とそれに基づく新規治療方開発	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ	91万円	補 文科省科学研究費 委
肺胞蛋白症の新たな病態:転写因子T-betによるGM-CSF非依存性の発症機構	森島祐子	呼吸器(内)診療グループ	234万円	補 文科省科学研究費 委
泳動パターン解析による糖蛋白腫瘍マーカーの簡便な鑑別診断方の確立	佐藤浩昭	呼吸器(内)診療グループ	104万円	補 文科省科学研究費 委

小計 13件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
新規サイトカインIL-17Fの気道モデリングへの関与	川口未央	呼吸器(内)診療グループ	39万円	補 文科省科学研究費
肺癌の抗癌剤耐性に及ぼす喫煙の影響に関する分子メカニズムの解明	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ	157万円	委 補 委 受託研究 自動車研究所
大気汚染やディーゼル排気曝露が喘息の発症・増悪に及ぼす影響に関する研究動向の調査	石井幸雄	呼吸器(内)診療グループ	200万円	補 喫煙財団
気道モデリングに対するモンテルカストの作用に関する検討	森島祐子	呼吸器(内)診療グループ	150万円	委 補 委 受託研究 MSD
狭帯域光観察を用いた肺癌胸膜浸潤・胸膜中皮腫病変の術中分断と浸潤メカニズムの解明	佐藤幸夫	呼吸器(外)診療グループ	50万円	補 団 委 内視鏡医学研究財
戦略研究(腎疾患重症化予防のための戦略研究)	山縣邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	24,900万円	委 補 費 厚生労働科学研究
進行性腎障害に関する調査研究	山縣邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	250万円	補 費 厚生労働科学研究
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究	山縣邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	120万円	補 費 厚生労働科学研究
今後の特定健康診査・保険指導における慢性腎臓病(CKD)の位置づけに関する検討	山縣邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	100万円	委 補 費 厚生労働科学研究
多様な診療施設グループによる糖尿病患者登録データベースの構築から臨床情報に基づく心血管等イベントのリスク予測に関する研究	山縣邦弘	腎泌尿器(内)診療グループ	80万円	委 補 委 国立国際医療研究センター
膀胱癌に対する癌抑制性機能ペプチドによる膀胱注入療法の開発	島居 徹	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ	100万円	補 文部科研
がんの悪性化におけるWntシグナルのモジュレータの役割について	島居 徹	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ	10万円	委 補 文部科研
ピーシージー膀胱内注入療法における病原体	宮崎 淳	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ	94万円	委 補 文部科研
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	宮崎 淳	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ	20万円	委 補 厚生科研

小計 14件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
原発性高脂血症に関する調査研究 (厚生労働科学研究費補助金)	山田 信博	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	3,713.1万円	補 厚生労働省 委
肝臓の脂肪酸組成変化による新規血清LDLコレステロール制御機構の解明 (挑戦的萌芽研究)	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	300万円	補 文部科学省 委
脂肪酸の質の違いによる自然炎症制御機構の解明 (新学術領域研究)	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	350万円	補 文部科学省 委
脂肪酸伸長酵素 Elovl6 を標的とした臓器脂肪質の変容による代謝制御機構 (基盤研究(B))	島野 仁	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	370万円	補 厚生労働省 委
栄養組成が肥満、糖脂質代謝、動脈硬化に与える影響に関する研究	鈴木浩明	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	100万円	補 文部科学省 委
メタボリックシンドローム治療に向けた脂質転写因子 SREBP-1 機能抑制効果の検討(基盤C)	高橋昭光	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	100万円	補 文部科学省 委
ヒト膝導管細胞を利用した糖尿病の新しい治療法の開発(基盤C)	矢藤 繁	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	34.6万円	補 文部科学省 委
SREBP-1cによる糖尿病性合併症発症のオートループ機構(基盤C)	小林 和人	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ	100万円	補 文部科学省 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	2,700万円	補 厚生労働省 委
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	300万円	補 厚生労働省 委
自己免疫疾患に関する調査研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
関節リウマチの関節破壊ゼロを目指す治療指針の確立、及び根治・修復法の開発に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	70万円	補 厚生労働省 委
新規疾患,IgG4関連多臓器リンパ増殖性疾患(IgG4+MOLPS)の確立のための研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	70万円	補 厚生労働省 委

小計 14件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
自己抗体陽性女性の妊娠管理指針の作成及び新生児ループスの発症リスクの軽減に関する研究	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	50万円	補 厚生労働省 委
シェーグレン症候群発症の分子機構と制御	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	100万円	補 文部科学省 委
スギ花粉症以外の疾患治療薬候補となる農作物の開発	住田孝之	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	750万円	補 農林水産省 委
免疫疾患の病因・病態解析とその制御戦略へのアプローチ	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	175万円	補 厚生労働省 委
成人型分類不能型免疫不全症の実態把握、亜群特定に基づく診断基準策定及び病態解明に関する研究	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	150万円	補 厚生労働省 委
ANCA関連血管炎のわが国における治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究	林 太智	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	75万円	補 厚生労働省 委
多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎に対するタクロリムスの治験(治験推進事業)	林 太智	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
自己免疫誘導関節炎における新規制御分子の病因的意義	松本 功	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	110万円	補 文部科学省 委
シェーグレン症候群の発症における分子機構解析	中村友美	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	60万円	補 文部科学省 委
自己免疫性関節炎におけるTIARPの病因的意義	井上明日香	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	70万円	補 文部科学省 委
「関節リウマチにおける生物学的製剤の長期安全性と副作用リスク因子に関する疫学研究」	林 太智	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ	20万円	補 文部科学省 委
新たな移植細胞療法に向けた造血幹細胞のex vivo増幅技術の開発と応用	千葉 滋 (分担)	血液診療グループ	70万円	補 厚生労働省 委
不応性貧血の治癒率向上を目指した分子・免疫病態研究	千葉 滋 (分担)	血液診療グループ	250万円	補 厚生労働省 委
特発性造血障害に関する調査研究	千葉 滋 (分担)	血液診療グループ	90万円	補 厚生労働省 委

小計 14件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
癌細胞を標的とする腫瘍根絶技術の新構築	千葉 滋 (分担)	血液診療グループ	8万円	補 文部科学省 委
Notchシグナルを用いたヒトips細胞からの造血幹細胞誘導法の開発	横山泰久	血液診療グループ	直接経費95万円 間接経費28.5万円	補 日本学術振興会 委
神経皮膚症候群に関する調査研究	大塚藤男(研究代表者) 川内康弘(研究分担者)	皮膚診療グループ	3200万円	補 厚生労働省 委
悪性黒色腫に対する新しい診療体系の確立に関する研究	大塚藤男(研究分担者)	皮膚診療グループ	100万円	補 委 国立がん研究センター
全国登録に基づく希少がんの診療実態の把握と治療体系の構築に関する研究	大塚藤男(研究分担者)	皮膚診療グループ	130万円	補 委 国立がん研究センター
Alagille症候群など遺伝性胆汁うっ滞性疾患の診断ガイドライン作成・実態調査並びに生体試料のバンク化	須磨崎亮	小児(内)診療グループ	1,950万円	補 厚生労働省 委
胎児・新生児期に発症する難治性遺伝性不整脈の実態調査、診断治療ガイドラインの作成並びに生体試料のバンク化	堀米仁志	小児(内)診療グループ	1,755万円	補 厚生労働省 委
小児移植医療発展のためのグラフト急性炎症を標的とした新規治療戦略の開発	藤代 準	小児(外)診療グループ	260万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
腫瘍幹細胞を標的とした難治性小児悪性固形腫瘍に対する新しい治療戦略	金子道夫	小児(外)診療グループ	200万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
上皮間葉移行から見た小児固形腫瘍の浸潤・転移機構の解明	小室広昭	小児(外)診療グループ	100万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
小児外科疾患に対する幹細胞とその微小環境制御機構を利用した再生医療	小室広昭	小児(外)診療グループ	325万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
治験の実施に関する研究「L-アルギニン」	石井亜紀子	脳神経(内)診療グループ	160万円	補 厚生労働省 委
孤発性筋萎縮側索硬化症における運動ニューロン死へのRNA編集酵素と多因子の関与	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	130万円	補 日本学術振興会 委
孤発性ALSの分子異常を標的とした治療技術の確立	詫間 浩	脳神経(内)診療グループ	100万円	補 厚生労働省 委

小計 14件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
アミロイドーシスに関する調査研究	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	150万円	補 厚生労働省 委
水晶体におけるアミロイドβ蛋白の解析と認知機能との相関に関する研究	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	130万円	補 日本学術振興会 委
平成22年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(毒性班) カニクイザルにおけるジフェニルアルシン酸の中脳神経影響	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	2,600万円	補 委 環境省
平成22年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) 若年層における脳血流シンチグラフ(123-I-IMP-SPECT)の正常対照群データベース作成	石井一弘	脳神経(内)診療グループ	900万円	補 委 環境省
平成22年度ジフェニルアルシン酸等の健康影響に関する調査研究(臨床研究班) ジフェニルアルシン酸等有機ヒ素化合物暴露者の眼球運動障害の検討	玉岡 晃	脳神経(内)診療グループ	470万円	補 委 環境省
有機ヒ素化合物による中枢神経系への長期影響の解明	石井一弘	脳神経(内)診療グループ	572万円	補 日本学術振興会 委
MRSを用いた脊髄の代謝機能とマッピング	阿久津博義	脳神経(外)診療グループ	72.8万円	補 若手研究スタートアップ 委
偏光を用いた脳神経機能・組織の術中顕微鏡下イメージングの開発	鮎澤 聡	脳神経(外)診療グループ	60万円	補 科学研究費、基盤研究(C) 委
遺伝子修飾した血管内皮前駆細胞(EPC)によるワクチン療法の開発	石川栄一	脳神経(外)診療グループ	110万円	補 科学研究費、若手研究(B) 委
MR compressron imaging の開発と水頭症病態への応用	石川栄一	脳神経(外)診療グループ	100万円	補 財団法人日本二分脊椎・水頭症研究振興財団
脳腫瘍に対する血管新生療法の展開:新規治療法と抵抗性の克服	高野晋吾	脳神経(外)診療グループ	430万円	補 科学研究費、基盤研究(B) 委
膠芽腫Glomaeruloid Vesselは何を行っているか?	高野晋吾	脳神経(外)診療グループ	120万円	補 科学研究費、挑戦的萌芽研究 委

小計 12件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
糖鎖修飾シロリムスリボソームを用いた血管形成術後再狭窄予防の研究	鶴嶋英夫	脳神経(外)診療グループ	70万円	補 科学研究費、基盤研究(C) 委
準単色LCS-X線と標的指向性DDSを組み合わせた相乗的癌治療効果に関する研究	鶴嶋英夫	脳神経(外)診療グループ	300万円	補 科学研究費、基盤研究(B) 委
膜融合粒子を用いた悪性脳腫瘍に対するホウ素中性子捕捉療法の基礎的検討	中井 啓	脳神経(外)診療グループ	90万円	補 科学研究費、基盤研究(C) 委
抗酸化作用を用いた新規ホウ素ペプチドの開発	松村 明	脳神経(外)診療グループ	120万円	補 科学研究費、挑戦的萌芽研究 委
ホウ素ナノパディス型中性子捕捉治療	松村 明	脳神経(外)診療グループ	520万円	補 厚生科研班員 委
悪性脳腫瘍に対する細胞選択的粒子線治療の高度化	松村 明	脳神経(外)診療グループ	360万円	補 科学研究費、基盤研究(B) 委
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	松村 明	脳神経(外)診療グループ	60万円	補 委 厚生省・受託研究費 精神・神経疾患研究委託事業
中性子捕捉療法の臨床研究	松村 明	脳神経(外)診療グループ	415.4万円	補 がん臨床疫学研究事業 委
HVJ-E感受性機構の解明	松村 明	脳神経(外)診療グループ	384.7万円	補 委 受託研究 医薬基
細胞周期同調下のプレローディングによる中性子捕捉療法(BNCT)の確立	山本哲哉	脳神経(外)診療グループ	140万円	補 科学研究費、基盤研究(C) 委
レドックス制御による中性子捕捉療法に用いるホウ素化合物取り込み改善に関する研究	吉田文代	脳神経(外)診療グループ	150万円	補 科学研究費、基盤研究(C) 委
子宮頸癌予防のための次世代ワクチンの開発研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	550万円	補 文部科学省 委
子宮頸がん発生とHLA遺伝子多型に関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	150万円	補 文部科学省 委
化学療法先行治療を進行卵巣がんの標準治療とするための研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	1204万円	補 厚生労働省 委

小計 14件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
妊婦及び授乳婦に係る臨床及び非臨床のデータに基づき、医薬品の催奇形性リスクの評価見直しに関する研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	2013.2万円	補 厚生労働省 委
放射線治療に資するがん制御遺伝子解析研究	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	105万円	補 産学連携等研究費 委
心磁計測を導入した新しい系統的胎児不整脈検査・診断システムの構築	吉川 裕之	婦人・周産期診療グループ	130万円	補 文部科学省科学研究費補助金 委
治療前婦人科がん不顕性血栓塞栓症発見法と顕性化予防法の確立および発生機序の解明	佐藤 豊実	婦人・周産期診療グループ	78万円	補 文部科学省科学研究費 委
耳毒性物質による蝸牛障害の成因の解明と治療に関する研究	田淵経司	耳鼻咽喉診療グループ	130万円	補 科学研究費助金基盤研究(C) 委
内耳発生における転写因子GATA3の機能解析	星野朝文	耳鼻咽喉診療グループ	130万円	補 科学研究費助金(若手B) 委
地域の小規模事業所における騒音性難聴予防対策事業	和田哲郎	耳鼻咽喉診療グループ	40万円	補 筑波大学社会貢献プロジェクト 委
遠隔手術手技指導システムの研究	和田哲郎	耳鼻咽喉診療グループ	70万円	補 筑波大学次世代医療開発教育統合センター橋渡し研究・シーズ探索研究支援事業 委
骨分化能に優れた根尖部歯髄組織由来間葉系幹細胞の単離およびその解析	山縣憲司	歯・口腔診療グループ	208万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
口腔癌におけるオートファジー関連因子p62欠損による発癌の解析	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	611万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
A170欠損マウスを用いた難治性顎骨髄炎の修復過程における中枢性骨制御の解析	柳川 徹	歯・口腔診療グループ	150万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
口腔悪性腫瘍の浸潤・転移を制御する糖鎖分子の探索と分子標的治療への応用	鬼澤浩司郎	歯・口腔診療グループ	988万円	補 日本学術振興会科学研究費補助金 委
血管内皮障害を伴う敗血症の新しい診断法の確立	水谷太郎	救急・集中治療診療グループ	351万円	補 文部科学省科学研究費補助金 委
陽子線を組み込んだ集学的治療の推進のためのトランスレーショナルリサーチ	櫻井英幸	放射線腫瘍科診療グループ	390万円	補 文部科学省 委

小計 14件

研究課題名	研究者氏名	診療グループ名	金額	補助元 又は委託元
粒子線治療の有効性、適応、費用対効果に関する総合的研究	櫻井英幸	放射線腫瘍科診療グループ	120万円	補 厚生労働省 委
がんに対する重粒子線治療の治療方法確立のためのランシレーショナル研究	櫻井英幸	放射線腫瘍科診療グループ	5万円	補 文部科学省 委
重金属病に対する微小プロトンビームを用いた革新的画像診断の開発	櫻井英幸	放射線腫瘍科診療グループ	110万円	補 文部科学省 委
頭蓋内病変に対する陽子線治療の最適化に関する基礎的研究	坪井康次	放射線腫瘍科診療グループ	320万円	補 文部科学省 委
中性子捕捉療法の治療計画に精密モンテカルロ評価を実現する境界面関数モデル法の研究	熊田博明	放射線腫瘍科診療グループ	140万円	補 文部科学省 委
肝細胞癌に対する陽子線治療の最適化に向けた臨床的研究	水本斉志	放射線腫瘍科診療グループ	50万円	補 文部科学省 委
IVR患者被ばく測定法の標準化に関する基礎的研究	盛武 敬	放射線腫瘍科診療グループ	90万円	補 文部科学省 委
陽子線治療におけるディスタル形状位置検出の高速・高精度化の研究	安岡 聖	放射線腫瘍科診療グループ	50万円	補 文部科学省 委
動体追跡システムの高高度化と強度変調/スキヤニング照射への応用	照沼利之	放射線腫瘍科診療グループ	50万円	補 文部科学省 委
生活環境意識調査	松崎一葉	保健衛生外来診療グループ	50万円	補 筑波研究学園都市交流協議会 委

小計 10件

合計131件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又委託元を記入すること。

(様式11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Am J Cardiol 106: 885-892	Analysis of the left atrial appendage by three-dimensional transesophageal echocardiography	Nakajima H	循環器(内)診療グループ
Am J Cardiol 106: 62-68	Effect of restoration of sinus rhythm by extensive antiarrhythmic drugs in predicting results of catheter ablation of persistent atrial fibrillation	Igarashi M	循環器(内)診療グループ
J Cardiovasc Electrophysiol 21: 284-289	Hybrid therapy of radiofrequency catheter ablation and percutaneous transvenous mitral commissurotomy in patients with atrial fibrillation and mitral stenosis	Machino T	循環器(内)診療グループ
Hypertens Res 33: 1264-1271	The therapeutic importance of home blood pressure assessment and combination antihypertensive therapy for achieving target blood pressure control: Ibaraki hypertension assessment trial	Sato A	循環器(内)診療グループ
Circulation 121: e390-392	Utility of real-time 3-dimensional echocardiography and magnetic resonance imaging for evaluation of Danon disease	Tada H	循環器(内)診療グループ
Am J Cardiol 105: 930-935	Coronary artery spatial distribution, morphology, and composition of nonculprit coronary plaques by 64-slice computed tomographic angiography in patients with acute myocardial infarction	Sato A	循環器(内)診療グループ
J Cardiol 74: 51-58	Combined assessment of carotid vulnerable plaque, renal insufficiency, eosinophilia, and hs-CRP for predicting risky aortic plaque of cholesterol crystal embolism	Machino-Ohtsuka T	循環器(内)診療グループ
J Cardiovasc Electrophysiol 21: 88-93	Age-related increase in atrial fibrillation induced by transvenous catheter-based atrial burst pacing: an in vivo rat model of inducible atrial fibrillation	Xu D	循環器(内)診療グループ
Photon Factory Activity Report 2009 (Part B) 257, 2010	Identification of microvascular coronary spasm using synchrotron radiation microangiography	松下昌之助	循環器(外)診療グループ

小計 9件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Photon Factory Activity Report 2009 (Part B) 259, 2010	Unexpected vasodilation due to cold exposure assessed by synchrotron radiation microangiography	佐藤 藤夫	循環器(外)診療グループ
日本小児循環器学会雑誌 26(5):384-391、11月1日、2010年	胎児羊心筋梗塞の再生的治療	野間 美緒	循環器(外)診療グループ
Ann Thorac Surg 89: 963-965, 2010	Giant coronary artery aneurysm with pulmonary artery fistula in a patient on chronic hemodialysis	徳永 千穂	循環器(外)診療グループ
Photon Factory Activity Report 2009 (Part B) 258, 2010	Evaluation of revascularization by arteriole/capillary ratio using synchrotron radiation coronary angiography	今水流智浩	循環器(外)診療グループ
日本心臓血管外科学会雑誌 39: 269-272. 2010	先天性大動脈弁狭窄症、僧帽弁閉鎖不全症に対してleaflet extension大動脈弁形成術と僧帽弁置換術を行った1幼児例	今井 章人	循環器(外)診療グループ
Annals of surgery	Platelets play an important role in the recovery of liver dysfunction after hepatic resection.	Ohkohchi N	消化器(外)診療グループ
Journal of Surgical Research	Effects of Platelet-Rich Plasma on Intestinal Anastomotic Healing in Rats: PRP Concentration is a Key Factor.	Yamaguchi R	消化器(外)診療グループ
International Journal of Oncology	Identification of natural antisense transcripts involved in human colorectal cancer development	Kohno K	消化器(外)診療グループ
Journal of Physics D	Ferromagnetic nanoparticles for magnetic hyperthermia and thermoablation therapy	Kita E	消化器(外)診療グループ
Cancer Science	Fatty acid synthase cerulenin suppresses liver metastasis of colon cancer in mice	Murata S	消化器(外)診療グループ
Journal of Hepatology	Activation of human liver sinusoidal endothelial cell by human platelets induces hepatocyte proliferation.	Kawasaki T	消化器(外)診療グループ
Journal of hepato-biliary-pancreatic surgery	Platelets Prevent Acute Liver Damage after Extended Hepatectomy in Pigs.	Hisakura K	消化器(外)診療グループ
Platelets	Platelet adhesion in the sinusoid caused hepatic injury by neutrophils after hepatic ischemia reperfusion.	Paku S	消化器(外)診療グループ
Hepatology	Wisteria floribunda agglutinin-positive mucin 1 is a sensitive biliary marker for human cholangiocarcinoma.	Matsuda A	消化器(外)診療グループ

小計 14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Journal of Applied Physics	Heating characteristics of ferromagnetic iron oxide nano-particles formagnetic hyperthermia.	Kita E	消化器(外)診療グループ
International Journal of Hyperthermia	Minimally required heat doses for various tumour sizes in induction heating cancer therapy determined by computer simulation using experimental data.	Yamada K	消化器(外)診療グループ
Journal of Surgical Research	Early postoperative oral intake accelerates upper gastrointestinal anastomotic healing in the rat model.	Tadano S	消化器(外)診療グループ
Langenbecks Archives of Surgery	Preoperative 3D volumetric analysis for liver congestion applied in a patient with hilar cholangiocarcinoma.	Takahashi K	消化器(外)診療グループ
Allergy Asthma Proc.	The role of atopy in the clinical course of pulmonary sarcoidosis in the Japanese population.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
Acta Medica	Sarcoidosis and lung cancer	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Am J Respir Cell Mol Biol.	TSLP Promoter Polymorphisms are Associated with Susceptibility to Bronchial Asthma.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
Am J Respir Cell Mol Biol	Aggravation of bleomycin-induced pulmonary inflammation and fibrosis in mice lacking peroxiredoxin I.	Ishii Y	呼吸器(内)診療グループ
Am J Physiol Renal Physiol	IL-17A and IL-17F stimulate chemokines via MAPK pathways (ERK1/2 and p38 but not JNK) in mouse cultured mesangial cells: synergy with TNF-alpha and IL-1beta.	Kawaguchi M	呼吸器(内)診療グループ
Am J Respir Crit Care Med	Inhaled Granulocyte/Macrophage-Colony Stimulating Factor as Therapy of Pulmonary Alveolar Proteinosis	Hisawa N	呼吸器(内)診療グループ
Anticancer Res	Optimal cutoff points of CYFRA21-1 for survival in non-small cell lung cancer patients based on running statistic analysis.	Kurishima M	呼吸器(内)診療グループ
Arch Dermatol Res.	Involvement of IL-17F via the induction of IL-6 in psoriasis.	Kawaguchi M	呼吸器(内)診療グループ

小計 12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
BMC Med Genet.	Genetic variants in mannose receptor gene (MRC1) confer susceptibility to increased risk of sarcoidosis.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
Clin Exp Allergy.	Blockade of cysteinyl leukotriene-1 receptors suppresses airway remodelling in mice overexpressing GATA-3.	Ishii Y	呼吸器(内)診療グループ
Clin Exp Allergy	Transforming growth factor-beta stimulates the expression of eotaxin/CC chemokine ligand 11 and its promoter activity through binding site for nuclear factor-kappaB in airway smooth muscle cells.	Kawaguchi M	呼吸器(内)診療グループ
Clin Exp Allergy	Induction of insulin-like growth factor-I by IL-17F in bronchial epithelial cells.	Kawaguchi M	呼吸器(内)診療グループ
Eur J Hum Genet.	Polymorphisms in the sialic acid-binding immunoglobulin-like lectin-8 (Siglec-8) gene are associated with susceptibility to asthma.	Hizawa H	呼吸器(内)診療グループ
Eur J Intern Med	Pneumonitis due to an herbal medicine, Otsu-ji-to.	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ
Infect Immun.	Impairment of host defense against disseminated candidiasis in mice overexpressing GATA-3.	Ishii Y	呼吸器(内)診療グループ
General Medicine	Spontaneous pneumomediastinum and neck subcutaneous emphysema.	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ
Int Arch Allergy Immunol.	Operative activation of CCL5 expression by TLR3 and tumor necrosis factor-alpha or interferon-gamma through nuclear factor-kappaB or STAT-1 in airway epithelial	Kawaguchi M	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med.	Primary mediastinal liposarcoma, with 6 years of follow-up to autopsy, revealed histopathological features of primary and metastatic lesions.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
Intern Med.	Upper lobe-dominant pulmonary fibrosis showing deposits of hard metal component in the fibrotic lesions.	Ishii Y	呼吸器(内)診療グループ

小計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Intern Med.	Japanese lung cancer research trends and performances in science citation index.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Int. J. Rad. Oncol. Biol. Phys.	Proton beam therapy for patients with medically-inoperable stage I non-small cell lung cancer at the University of Tsukuba.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Int. J. Rad. Oncol. Biol. Phys.	Proton beam therapy for patients with medically-inoperable stage I non-small cell lung cancer at the University of Tsukuba.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Int. J. Radiat. Oncol. Biol. Phys.	High dose conformal radiotherapy for patients with stage III non-small cell lung carcinoma at Tsukuba Medical Center.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
J Clin Lab Anal	Serum KL-6 levels in lung cancer patients with or without interstitial lung disease.	Kurishima K	呼吸器(内)診療グループ
J Clin Pharm Ther.	Beta-2 adrenergic receptor genetic polymorphisms and asthma.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
J Hum Genet.	A functional polymorphism (-603A > G) in the tissue factor gene promoter is associated with adult-onset asthma.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
J Invest Dermatol	Japanese-Specific Filaggrin Gene Mutations in Japanese Patients Suffering from Atopic Eczema and Asthma.	Hizawa N	呼吸器(内)診療グループ
Journal of Pancrea	Gemcitabine-induced pulmonary toxicity in a patient with pancreatic cancer.	Kagohashi K	呼吸器(内)診療グループ
Med Oncol	Interstitial lung disease in patients with small cell lung cancer.	Satoh H	呼吸器(内)診療グループ
Onkologie.	Postoperative Follow-Up for Patients with Non-Small Cell Lung Cancer.	Kurishima K	呼吸器(内)診療グループ
Respir Res.	Nrf2 protects against pulmonary fibrosis by regulating the lung oxidant level and Th1/Th2balance.	Ishii Y	呼吸器(内)診療グループ
漢方と診療	血痰に補中益気湯が有用と考えられた気管支拡張症の1例.	佐藤浩昭	呼吸器(内)診療グループ
新薬と臨床	ガレノキサシン(ジェニナック)の臨床的有用性に関する検討.	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ

小計 14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
新薬と臨床	シムピコート [®] の臨床的有効性と安全性に関する検討.	籠橋克紀	呼吸器(内)診療グループ [°]
日本呼吸器学会雑誌	ゲフィチニブ耐性癌性髄膜炎に対してエルロチニブが奏効した非小細胞肺癌の1例	森島祐子	呼吸器(内)診療グループ [°]
日本呼吸器学会雑誌	ゲフィチニブによる薬疹との鑑別に苦慮したHenoch-Schoenlein紫斑病の1例	森島祐子	呼吸器(内)診療グループ [°]
アレルギー	気管支喘息及び鼻炎における血清総IgE値及び末梢血好酸球数の検討	檜澤伸之	呼吸器(内)診療グループ [°]
Clinica Exp Nephrology	Measurement of health-related quality of life in patients with chronic kidney disease in Japan with EuroQol(EQ-5D)	Reiko Tajima	腎泌尿器(内)診療グループ [°]
Clinical Exp Nephrology	Design and methods of a strategic outcome study for chronic kidney disease: Frontier of Renal Outcome Modifications in Japan	Kunihiro Yamagata	腎泌尿器(内)診療グループ [°]
NDT Plus	Peritubular capillary lesions in post-streptococcal acute glomerulonephritis	Joichi Usui	腎泌尿器(内)診療グループ [°]
Clin Exp Nephrol	Renal involvement of monoclonal immunoglobulin deposition disease associated with unusual monoclonal immunoglobulin A glycan profile	Syuzou Kaneko	腎泌尿器(内)診療グループ [°]
Clin Exp Nephrology	Analysis of T-cell receptor usage in myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibody-associated renal vasculitis	Koichi Hirayama	腎泌尿器(内)診療グループ [°]
Circulation Journal	Characteristics of Revascularization Treatment for Arteriosclerosis Obliterans in Patients With and Without Hemodialysis	Junichi Hoshino	腎泌尿器(内)診療グループ [°]
Cancer Sci101(1), 22-28, 2010.01	Current status of chemotherapy in risk-adapted management for metastatic testicular germ cell cancer	Kawai K, Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ [°]
西日本泌尿器科75(2), 252-254, 2010.2	サンゴ状結石に合併した腎盂腺癌の1例	石塚竜太郎, 宮崎淳, 菊池孝治	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ [°]
Pharmacology 85, 110-120, 2010.02	Future Prospects for Luteinizing Hormone-Releasing Hormone Analogues in Prostate Cancer Treatment	Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ [°]

小計 13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Eur Urol 57(2), e7-9, 2010.02	<author reply>Re: Per-Uno Malmström, Richard J. Sylvester, David E. Crawford, et al. An individual patient data meta-analysis of the long-term outcome of randomised studies comparing intravesical mitomycin C versus bacillus Calmette-Guérin for non-muscle-invasive bladder cancer.	Lamm D, Böhle A, Palou J, Persad R, Brausi M, Colombel M, Akaza H, Buckley R:	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Cancer Chemother Pharmacol, Published online: 16 Feb., 2010.02	An early phase II trial of S-1 in Japanese patients with cytokine-refractory metastatic renal cell carcinoma	Naito S, Tsukamoto T, Usami M, Fujimoto H, Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Jpn J Clin Oncol 40(3), 267-270, 2010.03	Successful management by provocative angiography and endovascular stent of Ureteroarterial fistula in a patient with a long-term indwelling ureteral stent	Yamasaki K, Omori K, Takaoka E, Sekido N, Shigai M, Mori K, Minami M, Watanabe Y, Shimazui T, Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Jpn J Clin Oncol 40(3), 194-202, 2010.03	I study of sunitinib in Japanese patients with metastatic renal cell carcinoma: insights into the treatment, efficacy and safety.	Uemura H, Shinohara N, Yuasa T, Tomita Y, Fujimoto H, Niwakawa M, Mugiya S, Miki T, Nonomura N, Takahashi M, Hasegawa Y, Agata N, Houk B, Naito S, Akaza H:	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
J Biochem 147(3), 353-360, 2010.03	Suppression of AhR signaling pathway is associated with the down-regulation of UDP-glucuronosyltransferases during BBN-induced urinary bladder carcinogenesis in mice.	Iida K, Mimura J, Itoh K, Ohyama C, Fujii-Kuriyama Y, Shimazui T, Akaza H, Yamamoto M	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Eur J Cancer Prev 19(2), 131-137, 2010.03	Polymorphisms in estrogen related genes may modify the protective effect of isoflavones against prostate cancer risk in Japanese men.	Sonoda T, Suzuki H, Mori M, Tsukamoto T, Yokomizo A, Naito S, Fujimoto K, Hirao Y, Miyanaga N, Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Thromb Res 125(3), e65-70, 2010.03.01	Efficacy and safety of enoxaparin in Japanese patients undergoing curative abdominal or pelvic cancer surgery: results from a multicenter, multicenter, randomized, open-label study	Sakon, M., Kobayashi, T., Shimazui T	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Arch Microbiol. 192(4), 279-287, 2010.03	Isolation and characterization of the equol-producing bacterium Slackia sp. strain NATTS.	Tsuji H, Moriyama K, Nomoto K, Miyanaga N, Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Genes Chromosomes Cancer 49(4), 379-389, 2010.04	FOXO1 and TCF7L2 genes involved in metastasis and poor prognosis in clear cell renal cell carcinoma	Kojima T, Shimazui T, Horie R, Hinotsu S, Oikawa T, Kawai K, Suzuki H, Meno K, Akaza H, Uchida K	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ

小計 9件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Jpn J Clin Oncol 40(7), 684-689, 2010.07.	Successful Outcomes Using Combination Therapy of Interleukin-2 and Interferon- α for Renal Cell Carcinoma Patients with Lung Metastasis.	Akaza H, Kawai K, Tsukamoto T, Fujioka T, Tomita Y, Kitamura T, Ozono S, Miki T, Naito S, Zembutsu H, Nakamura Y	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Int J Urol 17(7),623-628,2010.07	Pattern of intravesical recurrence after surgical treatment for urothelial cancer of the upper urinary tract: A single institutional retrospective long-term follow-up study.	Takaoka Ei, Hinotsu S, Joraku A, Oikawa T, Sekido N, Miyanaga N, Kawai K, Shimazui T, Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Int J Urol.17(10),855-860,2010.10	Real-time Virtual Sonography for navigation during targeted prostate biopsy using magnetic resonance imaging data.	Miyagawa T, Ishikawa S, Kimura T, Suetomi T, Tsutsumi M, Irie T, Kondoh M, Mitake T	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Int J Clin Oncol 15(6), 611-614, 2010.12	A case of metastatic testicular cancer complicated by pulmonary hemorrhage due to choriocarcinoma syndrome	Kandori S, Kawai K, Fukuhara Y, Joraku A, Miyanaga N, Shimazui T, Akaza H	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
日本呼吸器学会雑誌(日呼吸会誌) 48(12), 976-979, 2010.12	多発肺結節・腫瘤を契機に見された原発巣が微小な精巣胚細胞腫瘍の1例	中山雅之, 齋藤武文, 坂東政司, 近藤譲, 河合弘二, 杉山幸比古, 赤座英之, 伊東絢一:	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
Cancer Sci. 102(1), 267-274. 2011,01	APAF-1 is related to an undifferentiated state in the testicular germ cell tumor pathway.	Behjati R, Kawai K, Inadome Y, Kano J, Akaza H, Noguchi M	腎泌尿器(外)・男性機能科診療グループ
PROSTAGLANDINS LEUKOTRIENES AND ESSENTIAL FATTY ACIDS 83(2): 75-81, 2010 Aug	Cide-a and Cide-c are induced in the progression of hepatic steatosis and inhibited by eicosapentaenoic acid.	inno Y, and Shimano H.et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
DIABETES 59(Suppl.): A298-A298, 2010 Jun	Comparison between Fasting and Post-Load Glucose Values as a Continuous Risk Factor for Cardiovascular Disease: A Meta-Analysis.	Kodama S, and Shimano H,et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
DIABETES 59(Suppl.): A420-A420, 2010 Jun	Hepato-Vagal Nerve Pathway Switches Energy Source from Carbohydrate to Fat during Fasting.	Izumida Y, and Shimano H,et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Headache Pain. 11(5):441-4, 2010 Oct (2010 Jul 13. [Epub ahead of print])	Thunderclap headache without hypertension in a patient with pheochromocytoma.	Watanabe M, and Shimano H,et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Atheroscler Thromb. 17(6): 601-609, 2010 Jun 30.	Effects of pitavastatin (LIVALO tablet) on the estimated glomerular filtration rate (eGFR) in hypercholesterolemic patients with chronic kidney disease. Sub-analysis of the LIVALO Effectiveness and Safety (LIVES) Study.	Kimura K, and Shimano H, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ

小計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Expert Opin Pharmacother. 2010 Mar 5. 11(5): 817-828	New evidence on pitavastatin; efficacy and safety in clinical studies.	Teramoto T, and Shimano H, et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Biol Chem. 2010 Feb 9. 285(15): 11681-11691	Polyunsaturated fatty acids selectively suppress sterol regulatory element-binding protein-1 through proteolytic processing and autoloop regulatory circuit.	Takeuchi Y, and Shimano H. et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
J Lipid Res 51: 1859-70, 2010	Protein kinase Cbeta mediates hepatic induction of sterol-regulatory element binding protein-1c by insulin.	Yamamoto T and Shimano H. et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Biochem Biophys Res Commun 391: 1222-7, 2010	The liver-enriched transcription factor CREBH is nutritionally regulated and activated by fatty acids and PPARalpha.	Danno H, and Shimano H. et al.	内分泌代謝・糖尿病内科診療グループ
Clin. Exp. Immunol. 159(1):1-10,2010	Laser Microdissection-based Analysis of Cytokine Balance in the Kidneys of Patients with Lupus Nephritis.	Wang Y, Ito S, Chino Y, Goto D, Matsumoto I, Murata H, Tsutsumi A, Hayashi T, Uchida K, Usui J, Yamagata K, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Ann. Rheum. Dis. 69:936-937,2010.	Replication of association between FAM167A(C8orf13)-BLK region and rheumatoid arthritis in a Japanese population.	Ito I, Kawasaki A, Ito S, Kondo Y, Sugihara M, Horikoshi M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Takasaki Y, Hashimoto H, Matsuta K,	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Clin. Exp. Immunol. 160:394-402,2010	Inhibition of transforming growth factor- β signaling attenuates IL-18 plus IL-2-induced interstitial lung disease in mice	Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Sugihara M, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Intern. Med.49:187-189,2010	A patient with rheumatoid arthritis who had a normal delivery under etanercept treatment.	Umeda N, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Int. Immunol.22(4):319-328,2010	Induction of Th1-biased cytokine production by α -carba-GalCer, a neoglycolipid ligand for natural killer T cells.	Tashiro T, Nakagawa R, Inoue S, Omori-Miyake M, Chiba T, Fujii S, Shimizu K, Mori K, Yoshiga Y, Sumida T, Watarai H, Taniguchi M.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Mod. Rheumatol.20(4):331-336,2010	New low-field extremity MRI, compacTscan: comparison with whole body 1.5 tesla conventional MRI.	Suzuki T, Ito S, Handa S, Kose K, Okamoto Y, Minami M, Sugihara M, Horikoshi M, Tsuboi H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Journal of Biomedicine and BiotechnologyEpub 2010 May 27.	Association of TNFAIP3 polymorphism with susceptibility to systemic lupus erythematosus in a Japanese population.	Kawasaki A, Ito I, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T and Tsuchiya N.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

小計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Autoimmunity Reviews 9:615-617,2010	Functional role of M3 muscarinic acetylcholine receptor (M3R) reactive T cells and anti-M3R autoantibodies in patients with Sjögren's syndrome.	Sumida T, Tsuboi H, Iizuka M, Nakamura Y, Matsumoto I.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
International Journal of Rheumatic Diseases 13(3):e32-e35,2010	High dose unfractionated heparin therapy in a pregnant patient with antiphospholipid syndrome: a case report	Ogishima H, Ito S, Tsutsumi A, Sugihara M, Goto D, Matsumoto I, Obata-Yasuoka M, Hamada H, Yoshikawa H, Takahashi H, Murashima A, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Clin. Exp. Immunol.162:53-61,2010	New epitopes and function of anti-M3 muscarinic acetylcholine receptor antibodies in patients with Sjögren's syndrome.	Tsuboi H, Matsumoto I, Wakamatsu E, Nakamura Y, Iizuka M, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Modern Rheumatology 20:548-555,2010	Elevated level of serum cystatin-C concentration is a useful predictor for myelosuppression induced by methotrexate for treatment of rheumatoid arthritis.	Hayashi T, Ito S, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Br J Pharmacol. 2010 May;160(2):292-310.	A novel antagonist of the prostaglandin E(2) EP(4) receptor inhibits Th1 differentiation and Th17 expansion and is orally active in arthritis models.	Chen Q, Muramoto K, Masaaki N, Ding Y, Yang H, Mackey M, Li W, Inoue Y, Ackermann K, Shirota H, Matsumoto I, Spyvee M, Schiller S, Sumida T, Gusovsky F, Lamphier M.	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Modern Rheumatology 20:556-560, 2010	Comparison of low-field dedicated extremity magnetic resonance imaging with articular ultrasonography in patients with rheumatoid arthritis.	Horikoshi M, Suzuki T, Sugihara M, Kondo Y, Tsuboi H, Uehara T, Hama M, Takase K, Ohno S, Ishigatsubo Y, Yoshida Y, Sagawa A, Ikeda K, Ota T, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
Journal of Pharmacy and Pharmacology. 62(9):1185-1188,2010	Difference in blood tacrolimus concentration between ACMIA and MEIA in samples with low haematocrit values.	Doki K, Homma M, Hori T, Tomita T, Hasegawa Y, Ito S, Fukunaga K, Kaneko M, Chiba S, Sumida T, Ohkohchi N, Kohda Y.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
PNAS107(36):15838-15843,2010	Gender Specific Association of X-linked TLR7 with Male Systemic Lupus Erythematosus	Shen N, Fu Q, Deng Y, Qian X, Zhao J, Kaufman KM, Wu YL, Yu CY, Tang Y, Chen JY, Yang W, Wong M, Kawasaki A, Tsuchiya N, Sumida T, Kawaguchi Y, Howe HS, Mok MY, Bang SY, Liu FL, Chang DM, Takasaki Y, Hashimoto H, Harley JB, Guthridge JM, Grossman JM, Cantor RM, Song YW, Bae SC, Chen S, Hahn BH, Lau YL, Tsao BP.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ
J.Autoimmunity 35(4):383-9,2010	Pathogenic role of immune response to M3 muscarinic acetylcholine receptor in Sjogren's syndrome-like sialoadenitis.	Iizuka M, Wakamatsu E, Tsuboi H, Nakamura Y, Hayashi T, Matsui M, Goto D, Ito S, Matsumoto I, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内科診療グループ

小計 9件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Arthritis Res. Ther. 12:R174,2010	Association of TNFAIP3 interacting protein 1, TNIP1 with systemic lupus erythematosus in a Japanese population : a case-control association study.	Kawasaki A, Ito S, Furukawa H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Kusaoi M, Ohashi J, Graham R R, Matsuta K, Behrens T W, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
Modern Rheumatology(in press)	Comparative suppressive effect in models of autoimmune arthritis by tyrosine kinase inhibitors imatinib and nilotinib.	Akashi N, Matsumoto I, Tanaka Y, Inoue A, Yamamoto K, Tanaka Y, Umeda N, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sekiguchi K, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
Arthritis Rheum. 63:755-763, 2011	Association of a functional polymorphism in the 3' untranslated region of SPI1 with systemic lupus erythematosus.	Hikami K, Kawasaki A, Ito I, Koga M, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Tsutsumi A, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Arinami T, Sumida T, Tsuchiya N.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
International Journal of Rheumatic Diseases 14:86-91, 2011	Importance of serine727 phosphorylated STAT1 in IFN γ -induced signaling and apoptosis of human salivary gland cells.	Tsuboi H, Wakamatsu E, Iizuka M, Nakamura Y, Sugihara M, Suzuki T, Ogishima H, Hayashi T, Goto D, Ito S, Matsumoto I, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
Am. J. Res. Cell. Mol. Biol. (in press)	NK1.1+ gdT cells attenuates IL-18 plus IL-2-induced murine interstitial lung disease.	Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Horikoshi M, Sugihara M, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
Clin. Exp. Immunol. 164(2):236-47,2011	Activation of natural killer T cells by α -carba-GalCer (RCAI-56), a novel synthetic glycolipid ligand, suppresses murine collagen-induced arthritis.	Yoshiga Y, Goto D, Segawa S, Horikoshi M, Hayashi T, Matsumoto I, Ito S, Taniguchi S, Sumida T.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
Arthritis Res. Ther. 13(2):R41,2011	Toll-like receptor 7(TLR7) SNPs in the 3' untranslated region and intron additively contribute to susceptibility to systemic lupus erythematosus in a Japanese female population.	Kawasaki A, Furukawa H, Kondo Y, Ito S, Hayashi T, Kusaoi M, Matsumoto I, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
Journal of Human Genetics (in press)	Cumulative Association of Eight Susceptibility Genes with Systemic Lupus Erythematosus in a Japanese Female Population.	Koga M, Kawasaki A, Ito I, Furuya T, Ohashi J, Kyogoku C, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.:	膠原病リウマチアレルギー内 科診療グループ
Blood 117(1);128-134, Jan 6, 2011.	Notch2 signaling is required for proper mast cell distribution and mucosal immunity in the intestine.	Sakata-Yanagimoto M, Sakai T, Miyake Y, Saito TI, Maruyama H, Morishita Y, Nakagami-Yamaguchi E, Kumano K, Yagita H, Fukayama M, Ogawa S, Kurokawa M, Yasutomo K, Chiba S.	血液診療グループ
Int J Hematol 92(4):617-623, Nov, 2010.	A nonradiation-containing, intermediate-dose methotrexate regimen for elderly patients with primary central nervous system lymphoma.	Taoka K, Okoshi Y, Sakamoto N, Takano S, Matsumura A, Hasegawa Y, Chiba S.	血液診療グループ

小計 10件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Int J Hematol 92(3):474-480, Oct, 2010.	Treatment of central nervous system lymphoma in rats with intraventricular rituximab and serum.	Miyake Y, Okoshi Y, Machino T, Chiba S.	血液診療グループ
Int J Hematol 91(3):471-477, Apr, 2010.	Cystatin C level as a marker of renal function in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Muto H, Ohashi H, Ando M, Akiyama H, Sakamaki H.	血液診療グループ
Blood 115(14):2872-2881, Apr 8, 2010	Hes1 immortalizes committed progenitors and plays a role in blast crisis transition in chronic myelogenous leukemia.	Nakahara F, Sakata-Yanagimoto M, Komeno Y, Kato N, Uchida T, Haraguchi K, Kumano K, Harada Y, Harada H, Kitaura J, Ogawa S, Kurokawa M, Kitamura T, Chiba S.	血液診療グループ
Archives of Dermatology	Perforated ischiogluteal bursitis mimicking a gluteal decubitus ulcer in patients with spinal cord injury: report of 2 cases.	Fujisawa Y, Ito M, Nakamura Y, Furuta J, Ishii Y, Kawachi Y, Otsuka F	皮膚診療グループ
British Journal of Dermatology	Complete long-term response of angiosarcoma of the scalp with cervical lymph node metastases treated with a combination of weekly and monthly docetaxel	Nakamura Y, Nakamura Y, Hori E, Furuta J, Kawachi Y, Otsuka F	皮膚診療グループ
Eur Jdermatol	Extension of a malignant tailgut cyst to a subcutaneous space in the buttock.	Fujisawa Y, Yanagisawa K, Nakamura Y, Kawachi Y, Otsuka F	皮膚診療グループ
Int J Dermatol	Modified gluteal-fold flap for the reconstruction of vulvovaginal defects.	Nakamura Y, Ishitsuka Y, Nakamura Y, Xu X, Hori-Yamada E, Ito M, Onizawa S, Kawachi Y, Otsuka F	皮膚診療グループ
Pediatr Dermatol	Chronically Recurrent and Disseminated Tinea Faciei/Corporis-Autoinoculation from Asymptomatic Tinea Capitis Carriage.	Kawachi Y, Ikegami M, Takase T, Otsuka F.	皮膚診療グループ
Acta Derm Venereol	Solitary glomus tumor on the nostril of a child: unusual clinical presentation	Ishitsuka Y, Ohara K, Otsuka F	皮膚診療グループ
Int J dermatol	Linear childhood discoid lupus erythematosus following the lines of Blaschko: Successfully treated with topical tacrolimus	Kawachi Y, Taguchi S, Fujisawa Y, Furuta J, Nakamura Y, Ishii Y, Otsuka F	皮膚診療グループ
J Dermatol	A case of extra-abdominal desmoid tumor in the subcutis of the thigh	Yasuhiro Fujisawa, Shintaro Sugita, Yasuhiro Kawachi, Fujio Otsuka	皮膚診療グループ
Europace. 12(7):1040-1	Isolation of pulmonary vein and superior vena cava for paroxysmal atrial fibrillation in a young adult with left ventricular non-compaction.	Kato Y, Horigome H, Takahashi-Igari M, et al.	小児(内)診療グループ

小計 12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Circ Arrhythm Electrophysiol. 3(1):10-7	Clinical characteristics and genetic background of congenital long-QT syndrome diagnosed in fetal, neonatal, and infantile life: a nationwide questionnaire survey in Japan.	Horigome H, et al.	小児(内)診療グループ
Dalton Trans. 39(48):11526-34	Photoinduced four- and six-electron reduction of mononuclear ruthenium complexes having NAD ⁺ analogous ligands.	Fukushima T, et al.	小児(内)診療グループ
成長科学協会研究年報 33:103-107	低出生体重のSGA性低身長児におけるGH補充療法のインスリン感受性に及ぼす影響に関する研究	鴨田知博, 岩淵敦, 齋藤誠, 宮園弥生, 野末裕紀	小児(内)診療グループ
日本周産期・新生児医学会雑誌46(4):1025-1027	母体救命救急の限界 救急救命士へのアンケート調査 茨城県の救急の現場における周産期搬送の現状と要望について	宮園弥生	小児(内)診療グループ
Pediatric Surgery International	A technical surgery for refractory gastroparesis in a patient with a mitochondrial disorder.	Yukihiro Tatekawa	小児(外)診療グループ
小児がん	盤内腫瘍に対するより良い放射線治療を目指して-ティッシュエクステンダーによる腹腔内臓器排除法-	金子道夫	小児(外)診療グループ
日本小児外科学会雑誌	広範な椎管内進展から両側傍椎腫瘍となった仙尾部奇形腫に対する腫瘍摘出-外科的アプローチの工夫-	金子道夫	小児(外)診療グループ
Journal of Surgical Research	Experimental Repair of Tracheal Defect Using a Bioabsorbable Copolymer.	Yukihiro Tatekawa	小児(外)診療グループ
日本頭蓋顎顔面外科学会紙	遊離組織を用いた頭頸部二次再建症例の検討	関堂 充	形成診療グループ
日形会誌	Fisher法を基礎とする新しい片側口唇裂初回手術法	富樫真二	形成診療グループ
日形会誌	小趾例多趾症手術の検討	平井浩気	形成診療グループ
Int J Oncol2010Apr	Huge pedunculated angiofibroma of the vulva	足立孝二	形成診療グループ
形成外科	鼻部に発生した懸垂性線維腫の1例	富樫真二	形成診療グループ
Skin Surgery	陰茎絞扼症～金属製リングおよび陰圧式勃起補助器具による1例～	堂本隆志	形成診療グループ
Pepars	背部の穿通枝皮弁の挙上と応用	関堂 充	形成診療グループ

小計 15件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
皮弁外科・マイクロサージャリーの実際 拳上～血管吻合の基礎から美容的観点を含めて	肩甲皮弁、肩甲骨弁、形成外科診療プラクティス	関堂 充	形成診療グループ
形成外科	四肢の疾患 中足骨短縮症(解説/特集)形成外科の治療指針update2010	関堂 充	形成診療グループ
Internal Medicine 49, 2515-2518, 2010	Diphenylhydantoin-induced severe yet reversible anemia during pregnancy.	Akinori Sugaya, Kiyotaka Nakamagoe, Yasushi Okoshi, Mana Obata-Yasuoka, Akira Tamaoka	脳神経(内)診療グループ
BMJ Case Reports. BMJ Case Reports published online 3 December 2010, doi:10.1136/bcr.05.2010.3003, 2010	A pontomedullary lesion of aberrant pyramidal tract with ipsilateral central facial paresis.	Kiyotaka Nakamagoe, Kazuhiro Ishii, Masahiko Watanabe, Akira Tamaoka.	脳神経(内)診療グループ
Archives of Neurology 67, 506-507, 2010	Magnetic Resonance Images of Herpes Zoster Myelitis Presenting with Brown-Séquard Syndrome.	Ai Hosaka, Kiyotaka Nakamagoe, Masahiko Watanabe, Akira Tamaoka.	脳神経(内)診療グループ
BMJ Case Reports BMJ Case Reports published online 25 February 2010, doi:10.1136/bcr.06.2009.2016, 2010	A case of idiopathic hypertrophic cranial pachymeningitis presenting high values of matrix metalloproteinase.	Kiyotaka Nakamagoe, Ai Hosaka, Yuzuru Kondo, Eiichi Ishikawa, Akira Tamaoka.	脳神経(内)診療グループ
Neuromuscular Disorders 20:633, 2010.	A polymyositis patient with anti-signal recognition particle (SRP) antibody refractory to corticosteroid treatment.	Ayako Shioya, Hiroshi Takuma, Akiko Ishii, Akira Tamaoka,	脳神経(内)診療グループ
Neuromuscular Disorders 20:631, 2010.	Clinical and imaging features of inclusion body myositis.	Ai Hosaka, Akiko Ishii, Yasushi Tomidokoro, Hiroshi Tsuji, Akiko Oda, Hiroshi Takuma, Kazuhiro Ishii, Akira Tamaoka.	脳神経(内)診療グループ
Acta Myologica XXIX :236,2010	Clinical experience with L-arginine treatment in MELAS syndrome; good response in young but not in adult-onset patients.	Akiko Ishii, Ayako Shioya, Ai Hosaka, Norio Ohkoshi*, Kiyotaka Nakamagoe, Akira Tamaoka.	脳神経(内)診療グループ
Neuromuscular Disorders 20:678,2010.	Clinical experience with L-arginine treatment in MELAS.	Akiko Ishii, Ayako Shioya, Ai Hosaka, Norio Ohkoshi, Kiyotaka Nakamagoe, Akira Tamaoka.	脳神経(内)診療グループ
運動障害 010:20(2)41-45.	2 Primary lingual dystonia induces by speakingの1例.	城戸崇祐, 石井亜紀子, 塩谷彩子, 望月昭英, 石井一弘, 玉岡晃.	脳神経(内)診療グループ
PLoS One. 2010 Nov 24;5(11):e15522.	CpG demethylation enhances alpha-synuclein expression and affects the pathogenesis of Parkinson's disease.	Matsumoto L, Takuma H, Tamaoka A, Kurisaki H, Date H, Tsuji S, Iwata A.	脳神経(内)診療グループ

小計 12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Hirosaki Igaku. 2010 Jul 8;61(Suppl):S262-S269.	PYROGLUTAMATE FORMATION AT THE N-TERMINI OF ABRI MOLECULES IN FAMILIAL BRITISH DEMENTIA IS NOT RESTRICTED TO THE CENTRAL NERVOUS SYSTEM.	Tomidokoro Y, Tamaoka A, Holton JL, Lashley T, Frangione B, Revesz T, Rostagno A, Ghiso J.	脳神経(内)診療グループ
South Med J. 2010;103(6):591.	Lymphocytic colitis in Satoyoshi syndrome.	Ishii K, Furusho K, Tamaoka A, Morishita Y.	脳神経(内)診療グループ
Neurology. 2010 Oct 20. [Epub ahead of print]	Detection of elevated levels of (alpha)-synuclein oligomers in CSF from patients with Parkinson disease.	Tokuda T, Qureshi MM, Ardah MT, Varghese S, Shehab SA, Kasai T, Ishigami N, Tamaoka A, Nakagawa M, El-Agnaf OM.	脳神経(内)診療グループ
FEBS Lett. 2010;584(15):3410-4.	MEK inhibitors suppress beta-amyloid production by altering the level of a beta-C-terminal fragment of amyloid precursor protein in neuronal cells.	Araki W, Kametani F, Oda A, Tamaoka A.	脳神経(内)診療グループ
J Neurosci Res. 2010;85(5):1137-45.	Oxidative stress up-regulates presenilin 1 in lipid rafts in neuronal cells.	Oda A, Tamaoka A, Araki W.	脳神経(内)診療グループ
European J of Neurology 17(6):823-829, 2010;	Clinical features of non-hypertensive lobar intracerebral hemorrhage related to cerebral amyloid angiopathy.	Hirohata M, Yoshita M, Ishida C, Ikeda S-I, Tamaoka A, Kuzuhara S, Shoji M, Ando Y, Tokuda T, Yamada M.	脳神経(内)診療グループ
Intern Med. 2010;49(12):1205-8. Epub 2010 Jun 15.	Japanese case of Fragile-X-associated tremor/ataxia syndrome (FXTAS).	Ishii K, Hosaka A, Adachi K; Nanba E, Tamaoka A. A	脳神経(内)診療グループ
Internal Medicine	TDP-43 M337V mutation in familial amyotrophic lateral sclerosis in Japan.	Tamaoka A, Arai M, Itokawa M, Arai T, Hasegawa M, Tsuchiya K, Takuma H, Tsuji H, Ishii A, Watanabe M, Takahashi Y, Goto J, Tsuji S, Akiyama H.	脳神経(内)診療グループ
Archives of Neurology	Magnetic resonance images of herpes zoster myelitis presenting with Brown-Séguard syndrome.	Hosaka A, Nakamagoe K, Watanabe M, Tamaoka A	脳神経(内)診療グループ
The Journal of Headache and Pain	Thunderclap headache without hypertension in a patient with pheochromocytoma.	Watanabe M, Takahashi A, Shimano H, Hara H, Sugita S, Nakamagoe K, Tamaoka A	脳神経(内)診療グループ
Eur J Endocrinol 162: 879-886, 2010	Acromegaly per se does not increase the risk for coronary artery disease.	Akutsu H	脳神経(外)診療グループ
Radiol Phys Technol 3: 34-39, 2010.	Measurement of absorbed doses in organs of medical staff at 18F-FDG PET examination.	Isobe T	脳神経(外)診療グループ
Radiol Phys Technol 3: 53-57, 2010.	Evaluation of a real-time semiconductor dosimeter and measurement of finger dose in nuclear medicine departments.	Isobe T	脳神経(外)診療グループ

小計 13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Neurol Med Chir (Tokyo) 50: 1-6, 2010	Efficacy of keishibukuryogan, a traditional Japanese herbal medicine, in treating cold sensation and numbness after stroke: Clinical improvement and skin temperature normalization in 22 stroke patients.	Yamamoto T	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo), 50(8): 638-644, 2010	Low peripheral lymphocyte count before focal radiotherapy plus concomitant temozolomide predicts severe lymphopenia during malignant glioma treatment.	Ishikawa E	脳神経(外)診療グループ
Magn Reson Med Sci 9: 101-108, 2010.	Postmortem magnetic resonance imaging dealing with low temperature objects.	Isobe T	脳神経(外)診療グループ
J Neurooncol. 102(1): 43-50, 2011. [Epub 2010. Jul]	Hypoxia-inducible factor 1alpha expression is a prognostic biomarker in patients with astrocytic tumors associated with necrosis on MR image.	Takano S	脳神経(外)診療グループ
J Neurooncol. 2010 Aug 22.	Immunogene therapy using immunomodulating HVJ-E vector augments anti-tumor effects in murine malignant	Yamamoto T	脳神経(外)診療グループ
Child Nerv Syst 26: 1705-1710, 2010	Torkildsen shunt: re-evaluation of the historical procedure.	Ihara S	脳神経(外)診療グループ
Child Nerv Syst 26: 513-521, 2010	Intraoperative neurophysiology for surgery in and around the brainstem: role of brainstem mapping and corticobulbar tract motor-evoked potential monitoring.	Ihara S	脳神経(外)診療グループ
Neurol Med Chir (Tokyo) 50(12): 1118-1122, 2010	Mild encephalitis/encephalopathy with a reversible splenial lesion: evaluation by diffusion tensor imaging.	Ishikawa E	脳神経(外)診療グループ
J Neurosurg. 112(4): 832-839, 2010.	Evaluation of ventriculomegaly using diffusion tensor imaging: correlations with chronic hydrocephalus and atrophy.	Ishikawa E	脳神経(外)診療グループ
J Biomed Mater Res A. 92(3): 1038-1047, 2010	Fibronectin-DNA-apatite composite layer for highly efficient and area-specific gene transfer.	Tsurushima H	脳神経(外)診療グループ
J Gene Med. 12(2): 194-206, 2010	Highly efficient gene transfer system using a laminin-DNA-apatite composite layer.	Tsurushima H	脳神経(外)診療グループ

小計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Neurooncol. 99(2): 177-85, 2010	Metronomic treatment of malignant glioma xenografts with irinotecan (CPT-11) inhibits angiogenesis and tumor growth.	Takano S	脳神経(外)診療グループ
Brain Tumor Pathol. 27(2): 89-94, 2010.	Detection of failure of bevacizumab treatment for malignant glioma based on urinary matrix metalloproteinase activity.	Takano S	脳神経(外)診療グループ
J Oncol. 2010: 351908.	Molecular targets for glioma angiogenesis.	Takano S	脳神経(外)診療グループ
Int J Hematol 92: 617-623, 2010.	A nonradiationcontaining, intermediate-dose methotrexate regimen for elderly patients with primary central nervous system lymphoma.	Takano S	脳神経(外)診療グループ
Acta Biomater. 6: 2751-2759, 2010.	Enhanced bone formation using hydroxyapatite ceramic coated with fibroblast growth factor-2.	Tsurushima H	脳神経(外)診療グループ
Bioorg Med Chem. 18(9): 3059-3065, 2010.	Dodecaborate lipid liposomes as new vehicles for boron delivery system of neutron capture therapy.	Nakai K	脳神経(外)診療グループ
脳卒中32(3): 268-274, 2010	超高齢の脳卒中患者の長期予後の検討.	石川栄一	脳神経(外)診療グループ
脳卒中32(6): 552-558, 2010.	脳虚血再灌流における酸化ストレス障害と脳保護療法. pH応答性ラジカル含有ナノ粒子(radical-containing nanoparticle: RNP)の可能性.	鶴嶋英夫	脳神経(外)診療グループ
J Clin Oncol.	Outcomes of Fertility-Sparing Surgery for Stage I Epithelial Ovarian Cancer: A Proposal for Patient Selection.	Satoh T, Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Am J Roentgenol.	RI of endometriotic cysts in association with ovarian carcinoma.	Yagi T, Satoh T, Oki A, Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Stem Cells Dev	Hypoxia responsive mesenchymal stem cells derived from human umbilical cord blood are effective for bone repair.	Hamada H, Yoshikawa H,	婦人・周産期診療グループ
Int J Clin Oncol.	Evidence-based guidelines for treatment of cervical cancer in Japan: Japan Society of Gynecologic Oncology (JSGO) 2007 edition.	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ

小計 12件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Int J Gynecol Cancer	Efficacy of human papillomavirus 16/18 AS04-adjuvanted vaccine in Japanese women aged 20 to 25 years: interim analysis of a phase 2 double-blind, randomized, controlled trial.	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Jpn J Clin Oncol.	Interleukin-10 -1082 gene polymorphism and susceptibility to Cervical Cancer among Japanese Women.	Matsumoto K, Oki A, Satoh T, Okada S, Minaguchi T, Onuki M, Ochi H, Abe A, Hamada H, Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Biochemistry	Characterization of the acid-alkaline transition in the individual subunits of human adult and fetal methemoglobins.	Hamada H, Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Int J Gynecol Cancer.	Efficacy of Human Papillomavirus Type 16/18 AS04-Adjuvanted Vaccine in Japanese Women Aged 20 to 25 Years: Final Analysis of a Phase 2 Double-Blind, Randomized Controlled Trial.	Yoshikawa H.	婦人・周産期診療グループ
Int J Rheum Dis.	High-dose unfractionated heparin therapy in a pregnant patient with antiphospholipid syndrome: a case report.	Hamada H, Yoshikawa H,	婦人・周産期診療グループ
Magn Reson Med Sci.	Can MRI predict local control rate of uterine cervical cancer immediately after radiation therapy?	Oki A, Sato T, Yoshikawa H,	婦人・周産期診療グループ
Jpn J Clin Oncol.	Cervical Cancer Working Group report.	Yoshikawa H,	婦人・周産期診療グループ
Cancer Sciences	Tobacco Smoking and Regression of Low-Grade Cervical Abnormalities.	Matsumoto K, Oki A, Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Int J Clin Oncol.	Evidence-based guidelines for treatment of uterine body neoplasm in Japan: Japan Society of Gynecologic Oncology (JSGO) 2009 edition.	Yoshikawa H	婦人・周産期診療グループ
Neuroscience	Cochlear protection from acoustic injury by inhibitors of p38 mitogen-activated protein kinase and sequestosom 1 stressprotein	Keiji Tabuchi	耳鼻咽喉診療グループ
Hea Res	Estradiol protects the Cochlea against gentamicin ototoxicity through inhibition of the JNK pathway	Mariko Nakamagoe	耳鼻咽喉診療グループ

小計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Neuroscience Letters	Protective effects of ExogenousGM-1 ganglioside on acoustic injury of the mouse cochlea	Shuho Tanaka	耳鼻咽喉診療グループ
Pharmaceuticals	Effects of NSAIDs on the inner ear:possible involvement in cochlear protection	Tomofumi Hoshino	耳鼻咽喉診療グループ
Br J Anaesth	Effects of fentanyl infusion on tracheal intubation and emergence agitation in preschool children anaesthetized with sevoflurane	Inomata S, Maeda T, Shimizu T, Satsumae T, Tanaka M	麻酔診療グループ
Hum Exp Toxicol	Nicotine poisoning due to intravenous injection of cigarette soakage	Hagiya K, Mizutani T, Yasuda S, Kawano S	麻酔診療グループ
Oncol Rep.23(1):61-7,2010	State of homeobox A10 expression as a putative prognostic marker for oral squamous cell carcinoma.	Yamatoji M	歯・口腔診療グループ
Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.298(2):G283-94,2010	Deletion of nuclear factor-E2-related factor-2 leads to rapid onset and progression of nutritional steatohepatitis in mice.	Sugimoto H	歯・口腔診療グループ
J Cancer Res Clin Oncol.136(4):553-9,2010	Expression status of Zic family member 2 as a prognostic marker for oral squamous cell carcinoma.	Sakuma K	歯・口腔診療グループ
J Cell Mol Med.14(6B):1546-54,2010	Enhanced neointimal hyperplasia and carotid artery remodelling in sequestosome 1 deficient mice.	Sugimoto R	歯・口腔診療グループ
Oncol Rep.24(1):241-9,2010	Down-regulated expression of SERPIN genes located on chromosome 18q21 in oral squamous cell	Shiiba M,	歯・口腔診療グループ
Oral Maxillofac Surg.in press,2010	Inflammatory pseudotumor: report of a case in the mandible.	Date A	歯・口腔診療グループ
ISRN Dentistry doi:10.5402/DENTISTRY,2010	Cheilitis glandularis: Two case reports of Asian-Japanese men and literature review of Japanese cases	Yanagawa T	歯・口腔診療グループ
J Anesth	Bilateral vocal cord paralysis in a patient with chronic renal failure associated with Alport syndrome.	Watanabe K, Hagiya K, Inomata S, Miyabe M, Tanaka M, Mizutani T	救急・集中治療診療グループ
Hum Exp Toxicol	Nicotine poisoning due to intravenous injection of cigarette soakage.	Hagiya K, Mizutani T, Yasuda S, Kawano S	救急・集中治療診療グループ
麻酔	覚醒下開頭手術の気道管理にi-gel(TM)を使用した2症例	鶴田昌平, 山田麻里子, 清水 雄, 左津前 剛, 田中 誠, 水谷太郎	救急・集中治療診療グループ

小計 14件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
J Orthop Res	Effect of gradual weight-bearing on regenerated articular cartilage after joint distraction and motion in a rabbit model.	Nishino T, Ishii T, Chang F, Yanai T, Watanabe A, Ogawa T, Mishima H, Nakai K, Ochiai N	救急・集中治療診療グループ
J Bone Joint Surg	Joint distraction and movement for repair of articular cartilage in a rabbit model with subsequent weight-bearing.	Nishino T, Chang F, Ishii T, Yanai T, Mishima H, Ochiai N	救急・集中治療診療グループ
J Orthop Sci	Effectiveness of bone marrow transplantation for revitalizing a severely necrotic small bone: experimental rabbit model.	Ogawa T, Ishii T, Mishima H, Sakai S, Watanabe A, Nishino T, Ochiai N	救急・集中治療診療グループ
日本整形外科学会スポーツ医学会雑誌	男子バレーボールナショナルチームのメディカルサポートについて	西野衆文, 林光俊, 森北育宏, 橋本吉登	救急・集中治療診療グループ
Hip Joint	ポーラスコーティングに溶射したハイドロキシアパタイトの効果—臨床治験THA21例の中期成績	西野衆文, 河村春生, 三島初, 宮川俊平, 落合直之	救急・集中治療診療グループ
人工関節学会誌	Tapered stemのステム長がセメントレス人工股関節全置換術の短期成績に及ぼす影響	西野衆文, 三島初, 河村春生, 宮川俊平, 落合直之	救急・集中治療診療グループ
Hip Joint	外傷性股関節脱臼骨折後長期経過した二次性変形性股関節症に対して人工股関節全置換術をした3例	吉沢知宏, 三島初, 西野衆文, 鎌田浩史, 宮川俊平, 落合直之	救急・集中治療診療グループ
日本小児整形外科学会雑誌	成長期スポーツ障害の予防のための運動器検診の重要性—『健康手帳』による一貫したケアプロジェクト—	鎌田浩史, 阿部亮子, 西野衆文, 落合直之, 宮川俊平	救急・集中治療診療グループ
Am J clin oncol	Role of radiotherapy for asymptomatic adrenal metastasis from lung cancer with intent of local control	Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton Beam Therapy for Patients with Medically Inoperable Stage I Non-Small-Cell Lung Cancer at the University of Tsukuba	Nakayama H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Strahlenther Onkol	Clinical results of proton-beam therapy for locoregionally advanced esophageal cancer	Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Phase I/II Trial of Hyperfractionated Concomitant Boost Proton Radiotherapy for Supratentorial Glioblastoma Multiforme	Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Oncol Biol Phys	Proton beam therapy for large hepatocellular carcinoma	Sugahara S, et al	放射線腫瘍科診療グループ

小計 13件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Strahlenther Onkol	Technical considerations for noncoplanar proton-beam therapy of patients with tumors proximal to the optic nerve	Mizumoto M, et al	放射線腫瘍科診療グループ
日本小児がん学会雑誌	骨盤内腫瘍に対するより良い放射線治療を目指してーティッシュエクスパンダーによる腹腔内臓器排除法ー	金子道夫、ほか	放射線腫瘍科診療グループ
Strahlenther Onkol	Stereotactic body radiotherapy for lung tumors at the pulmonary hilum	Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Neurol Med Chir	Low Peripheral Lymphocyte Count Before Focal Radiotherapy Plus Concomitant Temozolomide Predicts Severe Lymphopenia During Malignant Glioma Treatment.	Ishikawa E, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Int J Radiat Biol	Induction of in situ DNA double-strand breaks and apoptosis by 200 MeV protons and 10 MV X-rays in human tumour cell lines.	Gerelchuluun A, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Radiol Phys Technol	Measurement of absorbed doses in organs of medical staff at 18F-FDG PET examination	Fujibuchi T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Acta Oncologica	Pediatric Nasopharyngeal Carcinoma Treated with Proton Beam Therapy. Two case reports	Oshiro Y, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Cancer Sci	Cost-effectiveness of carbon ion radiation therapy for locally recurrent rectal cancer	Mobaraki A, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Appl Radiat Isot	Multistep Lattice Voxel method utilizing lattice function for Monte-Carlo treatment planning with pixel based voxel model	Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Progress in Nuclear Science and Technology	Application of the multi-modal Monte-Carlo treatment planning system combined with PHITS to proton radiotherapy	Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Progress in Nuclear Science and Technology	Development of the efficient modeling method with complicated human geometry for Monte-Carlo treatment planning system	Kumada H, et al	放射線腫瘍科診療グループ

小計 11件

雑誌名	題名	発表者氏名	診療グループ名
Progress in Nuclear Science and Technology	Evaluation of the influence on electric device by the secondary neutron beam generated in radiotherapy	Isobe T, et al	放射線腫瘍科診療グループ
Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology	Relationship Between Sense of Coherence and Depression among Workers: A Large-scale Epidemiologic Survey in Tsukuba Science City	Ichiyo Matsuzaki	保健衛生外来診療グループ

小計 2件

合計249件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入する

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 五十嵐徹也		
管理担当者氏名	医療情報部長	大原 信	
	薬剤部長	幸田幸直	
	病院総務部総務課長	多田典史	医事課長 坂本泰敏

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医療情報部 薬剤部 総務課	加付は1患者1ファイルにより医療情報部で管理している。 エックス線等写真も医療情報部で一括して保管している。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課、医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
第規 項第 第一 一条 号の に掲 げ第 一 体項 制各 号確 及び 保の 第九 況条 の 二十 三	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	臨床医療管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	リスクマネジメント委員会	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	臨床医療管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	臨床医療管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	臨床医療管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染管理室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	臨床医療管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染管理室
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策委員会
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理室
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理室
	各号及び第九條の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医事課
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 臨床医療管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 五十嵐徹也
閲覧担当者氏名	病院総務部総務課長 多田典史、医事課長 坂本泰敏
閲覧の求めに応じる場所	病院総務部総務課、医事課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	2 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 1 件
	地方公共団体	延 1 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	80.9 %	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		14,446 人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		7,739 人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,854 人
	D：初診の患者の数		20,659 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦・無
・ 指針の主な内容： 組織として事故防止に取り組む。 情報の共有化を図り、事故防止に役立てる。 事故防止のための教育研修システムを整え、教育研修を年2回以上行う。 医療事故防止マニュアルを必要に応じ閲覧に供する。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 臨床医療管理部から報告を受け、インシデントレポート、カクシレポート等の分析、改善策等を協議する。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3 回
・ 研修の主な内容： 第 1 期の研修プログラム (12回開催) 「ノリテカスキルアップ」－ 一般知識に基づく事故防止 － 第 2 期の研修プログラム (13回開催) 「医療の質を表す指標」－ クオリティインデイクター － 不審者対策講習会及び実技 (3回)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 平成22年度、医療事故防止マニュアルを全面的に見直し、28医療行為について手順を整備した。組織リスクマネージャー連絡会議において28のWGを設置し、インシデント等を分析し、手順を管理し、必要に応じてマニュアルを修正した。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊦ (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊦ (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊦・無
・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (8) 名 ・ 活動の主な内容： 医療事故防止のための調査、分析、指導及び教育 医療事故発生に伴う調査、分析、指導 医療紛争支援 医療サービスの向上のための企画及び教育	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊦・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊥・無
・ 指針の主な内容： 院内感染対策に関する基本的な考え方 院内感染対策委員会及び感染管理室の設置 院内感染発生時の対応 職員研修	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 院内感染対策指針及びマニュアルの審議 院内感染対策に関する情報収集と職員への周知 改善策の立案及び全職員への周知	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： 血液暴露の予防と対応（12回開催） 今話題の多剤耐性菌（13回開催）	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備（㊥・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 院内感染対策改善策を感染対策委員会で審議・決定後、各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡 感染管理室から、院内感染対策改善策を各診療科、各単位の感染対策担当者へ連絡、担当者から各スタッフへ連絡	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊦・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 職員全員を対象とした診療の安全に関する研修（第1期）において、「注射薬：一度入れたら戻せない」をテーマに資料を用いて説明を行った。 職員全員を対象とした診療の安全に関する研修（第2期）において、「抗がん剤のミッシングは安全キャビネットの中で」をテーマに資料を用いて説明を行った。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (㊦・無)業務の主な内容： 院内巡視にて実施状況を確認	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (㊦・無)その他の改善のための方策の主な内容： 製薬企業MRからの情報収集 医薬品医療機器総合機構からのメール受信（医薬品医療機器情報配信サービス） 印刷物の配布（薬剤部からのお知らせ 等） 院内メールによる情報配信	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	㊦・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 17 回
・ 研修の主な内容： (1) 医療機器の安全使用 1 回（全職員対象）（延べ 8 回実施） (2) 除細動装置の安全使用 6 回（看護職員・医師・臨床工学技士対象） (3) 閉鎖式保育器の安全使用 1 回（看護職員対象） (4) 人工心肺の安全使用 1 回（医師・臨床工学技士対象） (5) 血液浄化装置の安全使用 2 回（血液浄化療法部スタッフ対象） (6) 人工呼吸器の安全使用 4 回（集中治療部スタッフ対象） (7) 診療用高エネルギー放射線発生装置使用方法 1 回（放射線技師対象） (8) 診療用放射線照射装置使用方法 1 回（放射線技師対象）	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (㊦・無) ・ 保守点検の主な内容： 各機器ごとに保守点検台帳を作り、定期点検を実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (㊦・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 定期的に関係部署のスタッフに医療機器安全使用情報を配布している。	